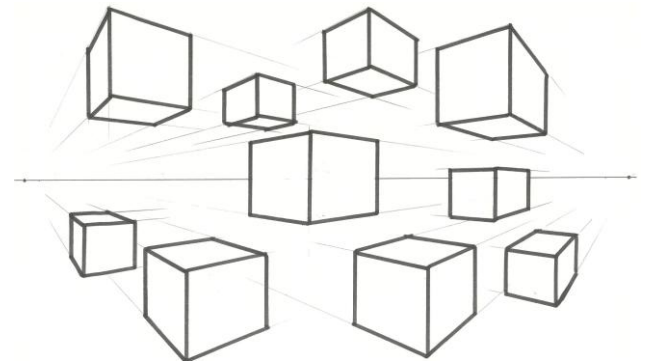




○ ペット

15日水曜日にYIC情報ビジネス専門学校ペット総合学科での初授業を行いました。前年度一年間ひととおり実施しましたので私自身の緊張感は昨年ほどではありません。しかし今年入学してきた学生にとっては初めての授業です。「どんな授業になるのだろうか？」という期待感のこもった視線を感じました。昨年よかったところや改善点を振り返りながらよりよい内容にしていきたいとあらためて気持ちを引き締めています。

内容はトリミングに活かすための「立体・空間の把握能力」のトレーニングです。最初に行ったことを紹介します。まずは起立して目をつむってもらいました。そして少し身体を前後左右に揺らします。地球の重力を感じ、自分が直立していることを実感してもらうためです。立体・空間の把握の基本は垂直と水平だと私は思います。対象物の形を観察するときに自分の身体がねじれていては正しい把握はできません。造形表現の基礎練習ではデッサンというスケッチを行います。鉛筆などの直線物を使って水平・垂直を測っている場面を思い出す人もいることでしょう。次に透視図法を使って立方体を描く練習をしました。我々が住んでいるのは三次元の世界です。たて・よこ・高さですね。この図法は中学校3年生の教科書に載っていたはずですので、一応全員が学んでいると思いますが、多くの方は忘れていてのことでしょう。思い出してもらいました。初授業はこのような“基本”から入りました。



2点透視図法を使って描いた立方体各種

○ 右左

同じテーマで以前記述したことがあります。「車は左、人は右」という内容です。歩道を歩いていて向こうから歩いてくる人の大半が私の右側によけるのはなぜでしょうという疑問でした。私が右側通行をしようとするどぶつかるようになります。関西(西日本)だからかな、関東だと違うのかな。そのようなことを今でも思うことがあります。ある日の新聞に興味深いことが記述されていました。

「車は左、人は右」という決まりは比較的新しいもので、戦後からだそうです。武士の時代は刀を左の腰に差しているため鞘同士がぶつからないように左側通行が決まりだったとの説明もありました。歴史的には左側通行のほうが古いのですね。最近自転車走行に罰則が作られました。自転車も車ですからやはり左が安全ですね。もう一つ疑問が残りました。左利きの侍は右に刀を差していたのでしょうか。その場合には「鞘当て」のトラブルがあったのでしょうか。左利き同士だったらあったでしょうね。

○ 自校自賛 学校にある植物いろいろ



ビオラたち